

**2015年4月24日開催  
2015年9月期 第2四半期決算説明会 における主な質疑応答内容**

この質疑応答集は、4月24日(金)に開催した決算説明会(アナリスト・機関投資家向け)にて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問をまとめたものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

**Q1. 説明会資料 60 ページ記載の下期のプロモーションコストを上期(2Q 累計)比で 400 百万円以上積み増しするとあるが、どの部門でいくらずつ積み増す予定なのかを教えてください。**

具体的な金額内訳をお答えすることはできませんが、テレビ CM を実施しているバリューサイクル部門への配分が最も多くなる予定です。

**Q2. 下期のプロモーションコストの積み増しは来期以降への先行投資ということだが、来期のプロモーションコストは減少する予定なのか教えてください。**

来期のプロモーション計画や予算は、現時点では決めておりませんが、今回の積み増しは、来期以降に向けた先行投資であり、見込みとしては、来期はその分減少させられると考えております。

**Q3. インキュベーション事業の上期(2Q 累計)のセグメント利益が 439 百万円、それに 4 月 16 日にリリースされた売却益 396 百万円を合算すると 835 百万円となるが、説明会資料 59 ページの通期のセグメント利益は 570 百万円となっている。この差額 265 百万円は何を見込んでいるか教えてください。**

インキュベーション事業は、投資事業なので売却益がある一方で損失リスクもあります。当社では、保守的に将来の損失に備えて、一定のルールで四半期毎に、減損や評価引当金の計上を行っており、下期については損失引当金として約 80 百万円を計画に織り込んでおります。

また、その他に新規事業コストを見込んでおります。

当社グループでは、前期末に黒字化が困難と判断した新規事業を整理したことで、今取組んでいる新規事業はありません。しかしながら、既存事業の周辺事業としての新規事業や、将来中核事業となり得るような新規事業に取組んでいく必要があると考えており、下期に約 60 百万円の先行投資予算を見込んでおります。

**Q4. 今後のインキュベーション事業（投資事業）での投資額を教えてください。**

明確な投資予定額は申し上げられませんが、当社の投資戦略に合致した国や事業には一通り投資が実行できたと考えております。その意味ではこれまでの投資ボリュームやスピードと比較すると緩やかになると想定しております。